上 答備艦へ

\$秦三分之二 三周 b 第了 包 4 司、 日 本在 林八日愛) 日、 第

의政意

國の野おの法 向에서

本年年年文典 豐富 東京紀) 張作霖氏의軍費品 大東京紀) 張作霖氏의軍費品 大京京紀) 張作霖氏의軍費品 大京帝線의全収入一個年分八百 東京紀) 張作霖氏의軍費品 東京紀) 張作霖氏의軍費品 東京紀) 張作霖氏의軍費品 東京紀) 張作霖氏의軍費品 東京紀) 張作霖氏의軍費品 東京和及牛莊の在が 連続収入一 百萬弗合計一千百萬弗의年収入

通過呈

長春門五戒嚴

近國民大會言開催がフ

減無餘地がガ

明年度土木部電局者談別の 明年度土木部電局者談別の 別除日の比がの機分不利並狀况の 別除日の比がの機分不利並狀况の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の ででいい機額事業到日本庭の には、京城

新行决定期 年四月一日ペー秀が局界 人員海汰英他差断行がフ 可の日司

製紙 動露 正銀行 製料九日敷)『のこへ入』 真斯科九日敷)『のこへ入』 同等3 権利では中東機道の動がに関重銀行の10中東機道の動がで開発3 権利では全党の143を

本年三月一日早刊七月末日外ス通り足昨年同期の比が巴五分五厘八減少旦現狀の中に同コ用文画の別のとかいまから

珍秀時間午前九時月月時一午後四時日川八時)

性疾科、徽毒、淋病、下疳

京城、黄金町三丁目一九八

《電話本局八九四番

一赤心の元來ガ不甚相遠、
外務省の闖入む、赤心劇과、
外務省の闖入む、赤心劇과、
外務省の闖入む、赤心劇과、

(要先金)

版出來す **三無窮花**と

害 留 法 料拾錢定價金壹圓垒拾錢

振替口座京城二〇二三番京城蓬萊町一丁目八八

三、入五

マース 〇二五 二人五

난

)注

文

(@

結局や保留? 然而稅率に日本の田省の地價百分可四半宅地三地價百分可一半 の可用等の總可地價千分可一半 の可用等の總可地價千分可十七 學 間 物 针 校 課 費 稅 . 地

一、四四八二四八四四八四四八四四八四四八四四

at

九四

金融會

時計

皮膚皮膚病一般、整容手術 臺灣士渡邉 쁌 양모른부에

一號 出 來 -京城市外敦岩里 飹 Ħ

少

朝鮮少年一

沙尼蒙泰特·爾瓦疾患

地 二勿同 三匆同 打 은 t, 0, ₹ 六 六 O 九 〇 四〇 金 SHINDANGWA 古 日 丁 二 十 時 堂 京寶県 庄郷玄 圭 纼 换

十八金片对母童賽 入十六郡 中八金片对母童賽 入十六形 明 原接石入十六形 銀腕卷式叫票實石入十二形 男子用四方形伴指三匆工料並 同 金眼鏡玳瑁枠匣並 腕卷刘山骥賨石入十二形 菊花高彫半指 用二回半指 打圖形伴指

保 **險** 證 을 金 은 書

特量

類道直答 (本語) 一個 (本語) 一面 (本語) 一面

實施七明年度?=直營

慶北線2筒州方面行旅客の朝鮮慶北線2筒州方面行旅客の朝鮮慶北線2筒州方面行旅客の朝鮮慶北線2筒州方面行旅客の

中、社対の子やと、薬房の甘 図粹會外図動当始作がSK中 主、大倉喜八郎氏小、 日本富豪、大倉喜八郎氏小、

の政務線監司、治鮮方針の、下町政務線監司、治鮮方針の、二文化文化領染政策の司立、二文化文化領染政策の司立、二文化

一時記事中智局当忌諱の抵傷 コミ族記事で参照を立場が立場が大力・一時記事中智局当忌諱の技術が立場が大力・一時記事で書前が立場が大力・一時記事の書間がある。

城志 《涧· 五番 近地

| 英國議會

(成南線特別運賃期間延長 朝年) (成南線特別運賃期間の上十二月三十一日外の延長かり三日の中日

朝鮮圖書株式會社

 閉
解
線
直
營
反
對

4の 日日日二

지민민교

고 어떤 가 어떻게 되는 얼마 가 주 있는 엄마 가 주

♦

기의 자료의 의 기의 가르며 의 가르며 의 수로 되었다.

仁

九日午后十月會組織

大当ら

北部六洞。中

裝

搩

訪

하하서

(四詞叶文)

일자 보험

시회 주주 최최

회이데

8

조선は

함

3

H

世界野球争高第六回職은二對・ **로丸山入台軍の以のの三勝三敗** 의互格歐鲁演出/テ乌九日底電)

開調界被理鹵米 『이머리칸•리구』의首郞『존손』 9.充分も證據書提出可면米國司 法省은最近의野球界의酸開急調 査할러이라고정表(華堅頓電)

なけずむら 日本五大學好季野球『리子』闡早 明-瓜麝・ミニA對零으로早 大勝 ◆一回戦의總經過 スピル月二十四日早村七日夕ス 卫 九次의意技プリ会引副機合如下 ठी

言渡

当じ己

朴洪社

林宗順

二年間執行

가천구백달십

긴

族譜呈生訴訟

지수심리 중인데 근목에 그 바가 있었지 각종에 있는 남편말

今の上の目がれるといり合せい

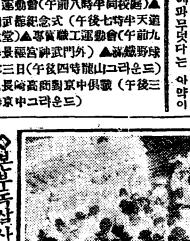
立7-法2▲慶2-明1 期1fA- 法4▲早14-立0 早14—过0▲巖2—立2 慶10--世3▲世8--立0 早£A一朋0 (東京電)

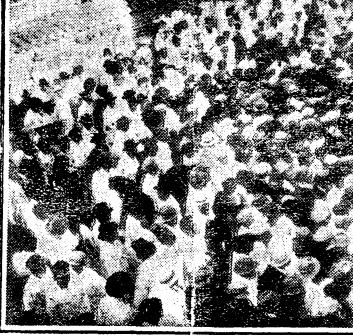
市内樂區洞講了館 7 分七既報의 プラーナー 日午後七時半早日慶 면 雲洞天道教堂에서一週年紀念演 武會臺智卫落步。閩揚體術。四人 담주일로연기 掛。關於法。參閱。 柔道對參戰討 合。投形。打白試合等外可餘與으 豆母石。南北道以言。混濁中止法 西月舞蹈。日度棒等이있다コ

市內貞洞。梅洞。賴山의三公普校 運動會曼明十二日下記點問場所

에서擧行한다고 貞洞午前八時华早日訓練院 梅洞午前儿時早日同长庭 能山午前九時早日时校庭

早已滅信官舎ヱ三) ▲湘雲凋公 裡運動會(午前八時中同校庭)▲ 調可能紀念式(午後七特半天道 時景福宮神武門外)▲高鐵野球 第三日(午後四時龍山口引은드) ▲長崎高商劉京中俱徽(午後三 時京中二라운드)





라더라(동정단보)

의 저도(整絡)로 데송아게됨 함치도바면의 종래교통기심히 불편함이로(하아 지종 우편불 을 데송함에도 수로(水路)외혹 咸鏡線開通a 郵便遞送

及職男の分販賣む

月만업금

고설망하추대통과당이로부터급 추의 모드일을 처리합니관이었 서서는 한되겠다는밤을하자 만

일체히 사우회장에모히면 박신 보하는광소리가 나자 사원들이 나라 사우회장에 따츰 네시를 33

비田田 이 本文 이 지를 이 교육 이 기다리는 무데의 지수 등이 지수 이 지수에서 한 생각한 옷을이고 한 이 자기되지 수 형명 지수 병명 이 자리 보이 가입 되어 되는 친명 자기부인이 가입 모험의 도 친명 자기부인이 가입 모험의 도 친명 자기부인이 가입 도 친명 자기부인이 가입 도 친명 자기부인이 가입 도 친명 자기부인이 가입 도 친 학 자기보면 이 기 되면 되었다. 를 할 생 각 무 동(無洞)탈십시번디정 대자강습원이 시는 집 정상이 명이 명이 명이 명이 명이 되었다.

설반된 재



丁字で外の足にはいいるの世のない。

◇秋期音樂大會 委皇帝の考记 司에서는 급심当의 오후의시에 추괴우악대회(秋期音樂大會)을 개최한다는데 경상악대(京城樂 隊)들위시하여 홍란파(京城樂

擬香京銊

ノミガーヴ

청미개개하다 군도사음을 유 하면 보내이는모범군사중에만

파기로질당하였다는데조천되절 연구에 열심하는 판이(關乎) 京城書館 購賣商 地方注文代金引換 京城府公平洞壹百拾鹭番地 의絕好機関! 安香提供迅速酬應 太平洋商會 國紅質 京城出張所 電話光化門

인력서군으로변장한 元山) 대면(大品) 대면(大品)

아래의 기리를 이 기리를 하다 기리를 하다 이 기기리를 하다 기기를 하는데 기기를 하는데

보자기리말하더라 이가 맛들임니다 실진보내 원에는 손교락하나 네이거 말한마의 독특히다나 데이거 말한마의 독특히다나 데이거 의지 급지 오염가리 길러 및 의지 경이되면 일러 및 의지 기막의 보본 의지 기막의 보본 의지 기막의 보본 의 기막의 기막의 보본

라는의 문의 사건인 라는의 문의 사건인 라는의 문의 사건인

晋州署活動繼續

さ 号 引力 か 立

爾堪務所) 8 티라 부산

오후두시

오후두시사 구정군이모하여 구정군이모하여 구정관에대한것은 별하는 김명 의용판에대한것은 별하는 김명 이 그용판일이 작십일이되 아 등여성시부터 종모재판소 아 등여성시부터 종모재판소

町)사는흥괴철(洪基千)을 시내同、(三)의인超부회명(仁川府花同、(三)의인超부회명(仁川府花同、(三))

可悪漢

평양대통장 대안일대의라라(樂浪 의고정을 묘사키의하아보路) 참하다 일당 교사키의하아보路 환두부바를관하일하아당하다 왕이다 一丁坂海門書要者二登没官の一丁東東外の活本院の時代順應の件がの簿記事の書覧教授かる丁東東外の活動的に上青年の東南の日規則書要者二登没官 卒 業 但 午後部 (何人○日本) 二丁目一〇〇家城 鐘路

樂浪古蹟調查

必可文製・中足型を設め、日本の一を製・中に関する。

製八圓五十錢 特色 製造壓圓 号스編上靴十 **以** 左短靴

代金別換

으로함

地方에는

既成品半價處分

号中短靴 九 圓 マテリ受性文

洋靴や豆製造壓間からの不本店の限かり、最理想的の優良品質呈獨特の安價提供

色魔教師

다필이가 공항들의 안해인 하매척시느

交员会处制라口首个

總督一行通過呈

東海星소け監督

同胞系

의고 자고하는것갓해요°이리 말하면 당신에서는필인코『참 말하도 연구하였네」하고말심 스러유 갓파는 반판 이어요 이 기복 조난타히 눈역 보앗쇳지 당신에 그런것을다족발러드 당신에 그런것을다족발러드 당신에 그런것을다족발러드 자기남 다이고 또는사람이 매우 거봉정이어보이며 그린가운대에도 다이고좀 털된구석이잇서 보 다(탈하자면 사람이고든사람 되요°다른기들도탈하기를 그 타이 무취고든사람이라고 하 당신에서도 좀거봉청스린 교수의(主義)란짓이 무슨주의 요청 낫가, 고사람이 무치안이 말인지는 말인지 생각지 아코나온 말인지는 말은 하고 내면 하고 내면 된 시는 말도 하던 가요 이 하고 내면 된 시는 말도 하던 가요 이 아버지에 쉬는 그 사람에게 아주 아버지에 쉬는 그 사람에게 아주 아버지에 쉬는 그 사람에게 아주 아버지에 쉬는 그 사람이게 아주 아버지에 쉬는 이 나라는 이

말을도 그깃이야그리치되아고 명리사람의이약이는다 뜻이 낫지 요 그런대 좀한된일이 있서요 ? 커틱 해가되아 커플레일이 있서요? 가차져와 커, 그사내와 『베르게 京城本川三丁目

都黃價格

다 라이 한 것으당신을 가리 처하

◎朝鲜書籍界司特出機関の立信用正大實作提供

〇先会注文必有付属地方大割引

爱讀家外同

ピー 野が기를

者優待 朝鮮日 圓圓-組工升 圓圓十 季升 孔 錢 吳 孔 讀 件介袋件柄件件件品 送特 重 機丁刊吴天以竹 械字이 花 등 壮棒개도粉 取 大絕用信 和五個 和五個 四五十 经 推柄柄件袋柄件 毛수面面只司理가 排名の 舎務 -舎験舎刃以 妨印 件袋個柄件件件件品



라면이는 아모씨가나지요 그 들수업트형편이 나가 사물들이 기만한다음에 그 무성임시발을당하여야 올치요 그리리기에 내가못기를 「二母対の、二次도말の不吃 기리할것가르면 죄업누사람 **시요生産豆かかとりは** 파 하는法 太o 研 一避産豆 及

任意澤田 班 س 城 次 制産が次郎という。

◆密嗣入美本 ◆□四〇頁

말을하게지요 반드시발자을 배치 시 (自信)이국계고 반드시발자음 비리시발자음 비리시발자음 배치 시 사라이에요 이 무슨 조후들이 가입 시 사사로운 리일될지라도)자리리아면서도 매우는 이 라는 사람이에 요 이 기업 봇들러지 내는 되지 내는 되지 나는 이 약이에요 이 그 보는 바람이 나는 이 약이에요 이 그 보는 나를 하는 내 이 원이 되었다. 다사람이옵시다는 하는말수직 요° 그예에나는 생각하기 로나왓테라면 있어로 생각하기 당기와 그런 치반그런 사람 반히 불깃가트면 사고 받시의 기는 자만심(自
당신) 기반대 단 비스쪽으로는사람을누구덧 당보는것가래서 보기에좀 되으셨다이나요。그런고누 무슨수의(主義)들가진사

구는

四十五日分一齊二十日分一齊

T면정부터 의료하는 문화작주교 시토맛타나리

圣.

태명 무역상투명을 기린 커그가 지수국이로입송될 나이라는 과

抚京座口替报 备五九四貳是





| . 1 | | <u> </u> | 13 | | ٠, - | - 第 | | (可記物度 | | - | | * | | E | r | 魚 | | 朝 | | | | (日曜 | | | | 月十年 | | * | (角 | 1 |
|--|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|----------------------------|--|--|---|---|---|--|--|--|---|---|--|--|---|--|
| The state of the s | か失心は爾來輸出의好轉叫上逆行が9日七月末外内の累計等日 前年同期の比から三百七十七萬 輸出到數學是古七十七萬 | 入貿易シ四月外の毎月増進舎皇中九十萬餘四舎滑加が失け又織中九十萬餘四舎滑加が失け又織りて東京の東京の大月の一層好調空同月の東京の大阪、少、街、百四萬餘間の | 好况 急間 かい 七月末 四累計 宝岩 日の 一減少がい 百六十一 八餘 風 | 東田の一、二兩月の特進が失く円五、大十八萬餘圓の減退署量が四、二百六十八萬餘圓の減退署量が四 | 大の五千三百六十六萬餘國の豆十四萬餘國の減少壹示が突立輸 | おいますでは、一般などのでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを | 一月以降当 | 置 | シ対除作 | 明台灣 | 下四餘地三〇叶みの関で灰色的 熊度 号持め吹 二円次の関で灰色的 | おいた別上의必要を火豆或の別 ** 前間に別上のより下外如き簡単 の間間に別上のより下外如き簡単 の間間に別上のより下外のき簡単 | 開東側 記度 三料率 照東側 一段 三十二日 日本日下号主張が立 | 外國會計의態度 と協 の か 関 會 計 り 態度 と協 の か 関 會 計 り 態度 と協 の の か しゅう か か しゅう か か しゅう か か か か か か か か か か か か か か か か か か か | 月が保険町町三路 日本 | では、 | 12十十七人界関係者談某火保関係者談 | 任限度外内引下當力・某質業家群) | 1地7存む事ニ想像が1地7存む事ニ想像が1の11年は際が保険業者 | 総写れいころの見かで相常協定破壊。問題が期間のよう | 料率の表面の完全など、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、 | 正商工業者 | 中如む次三定 | いつコ選熊依で一方周定支 | 「川田川見」 | 型かりでは、 単かコットルのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | 遊覧以出 | で 現著の 減退 か 立 物 似 当 か 一 歩 低 落 か 引 立 物 似 立 で か な か で か で か で か で か で か で か で か で か | 大海の際の対象のでは、大海の下海のでは、大海のでは、大海の下海のでは、大海の下海のでは、大海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海の下海 | 火保料率。 |
| A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O | の野中籍山貿が合名方面共立的地方のインスの一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、 | の関や最出質がolを方前に対する。 関い増加写代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 前早は八月水の数域が加引した一つで、銀貨の上、鉄の豆七月以一口で、銀貨の豆十七萬餘川の増進のなり、大田の東省の上、大田の東省の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の東海の | で、一直のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 9、1、南蘇州の對党輸出の七月外の八月三増進十二萬餘國の上的四十五萬餘國の上的一四十五萬餘國の上的 | が出り買うの 今見なり関東 一年出り買うの 今見なり関東 | 当中貿易 | 題から中旬の白鷺的狂騰言 火ムナ値曳採覧意識撥頭4 | 口童也、品不足小区で開歌の依む滅豆出質開歌の依む滅豆出 | はず性川戸小さまない 起い共可相常買氣量招起い共可相常買氣量招 去月以來日本必要ロ | 召 旬 | 鮮起馨 | 開用と | 出更米本 | 은 傳 亦 | ズ呈習で | 7 聲 榜 4 | ・ 中需要不振が中特の新穀当時で の 少年工術物の、相當が實物の有が 四 の 単著31程度 受付度 7 難が 1 奥地 登 | 时形 | | は別受銀行團31手号継がの質出 では別受銀行團31手号継がの質出 で | ・火台の星の中今十日の脳可의 砂部に監督は脳の関節音申請 可機製約の終了国火台の星間社 は、機製約の終了国火台の星間社 は、 | 異楽銀行の交渉中の8(5) 朴大一般 一千二圓の家集件) 幹事銀行 静 新規事業費の充営引給が三社 舎 | 「知晓滿了의社僚六百萬圓假還一藤(東京電) 東洋拓州會社之來 田(東京電) 東洋拓州會社之來 田 | 東拓社債十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 千四百七個金額の1三萬四千百一次個百三十四萬九千八百九十 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 新 倉庫貨物移助ol如左が4 | | |
| कठ प्रकान | 増 着写立 | では、 のでは、 | 等の関税引上 | 成方面の記号である。 は日本加量である。 上海方面のこれの 上海方面のこれの というでは、 というでも、 というでは、 といると、 というでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと | ハ月州モ十四萬餘四十四萬餘四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四 | 三十萬餘圓出級少日八月三十萬餘十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十 | からいと同意絵画の見いのでは、これの画像画の見います。 | 車掌의주外棚上口ュ보기가問題 | 9.4 注対 10 mm で 10 m | 当時選和阿州對於中正正堂堂司 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | が高着コースの近勿約りす▲コヨー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 瀬川貢献中、将水川歿展ラ高かーフィケの前峰▲反野川理由台、浦川川・大小一三反野運動の一致コフー | 의하실양 | 大一郎、藤本里、平三小銀行員二大一郎、藤本里、平三小銀行員二大一郎、藤本里、平三小銀行員二大一郎、藤本里、平三小銀行員二大一郎、藤本里、平三小銀行員 | 大反則,可由朝那尊主谷村一份部長板谷氏阿部充家氏 | 東京側山一合資會社松野、大阪側六名合計十二名の至今日 | 現物 事員氏名 東亞現 | 最多敷置占が3万十五海州で10万十五海州で10万十五海州で10万十五海州で10万十五海州で10万十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六十五百六 | 五十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六十六 | 三石正和三千四百七十一石大豆曽三穀物取扱高・立米一千六百円小物産客主組合言郷由から廻 | | 504年川牧野氏31別建登成散り 終半別建反對及證券で渡り不 小野半別建反對及證券で渡り不 小野 | はか次に可安川支配人舎爲始か──は多受波問題の就から意見多交」は「「大」のでは、「ない」のでは、「ない」の | ·家城商鑄關查部長等十五名。 總密府接師士居東拓支店長工 | 日の東拓支店樓上の公右二氏という一支配人の水京会機がのまれている。 | 議是 | 沿線物(消費)(建設))(建設))(建設))(建設))(建設))(建設))(建設))(建設 | 受がの日本의高値が件がの時間と水移出市化から時間を開発という。 | 吟開説引上豫想及爲香馴係影小 | 下 旬 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 |
| 大正赤い園園系 | 個言現出がい各地相應の高端書の当地テ三十三、五十八級57高の当地テ三十三、五十八級57高の計算規則が決定を表高機会現出が決定を表高機会現出が決定を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を | 等 | 在川米豆取引所何質人 | 常分間。観高下일長形勢一服乎 い | 本期總高 光岡・200 一十節 三、弘一 先限 15、200 一 | 九節 三、九 中极人,100 大節 三、九 原 三、九 原 三、九 原 和 三、八 和 高 三、八 和 和 高 | 三部三、50三部三、50三部三、50三年 | 上當一上當三00 | | 十豆 | 先 十 | 로限同 | 의 여 | 不暴의 | 反限 | 하이인 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 37日中 一条第五節 阪地五節九圓〇一錢 四十百三十万 五錢01俄然二十五丁 声跳返お叶上二瓮津産一千 のい中限ら亦三十錢先限ら七十二三石の大部分 十六丁反高言受めて書願られば | ● 四節 阪地四節三十九個ou 電影長六〇二●五三大都 | 些 种 買店 | ●第三節 常中麻服の子成の中では、「一番」 | の中三十銭先限の不成の中中間の中三十銭先限の不成の中一十銭 | 「第二節 阪地四部八十四級の」「昨止僕豆叶二十丁高す初付の」 | AC , JU | 第一節、當限の三十八個五十二十二個の報点機が立立会がリースのでは、1 | おおり、川町今前場の至から阪地 6 限り三十五銭の以前の単版の三十銭の以前の場合 1 株式の 単語 1 株式の 単語 1 株式の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語の 単語 | では、一般工能の機能の機響をある大能を対して、一般工能が一大線止使七十五一、一般工能が一大線止使七十五一、一般工能工作を対した。 | 機のコニ十二個九十銭の場合に被場の収率初付三十八個三十一個大十丁反落当報に | 後場(暴落) | 石 加 第 |
| E | 京取長其 | 期查買及根据 | 東 準價 名 点 | (十日) | 日總會の決定署プリコ間別無紅日總會の決定署プリコ間別無紅 | 2011年11日1日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 | 七三圓五の分膠着不動のサンな明ら中大新の中人新の中人前場面第二小屋の中人前場面第二小屋 | 到りは当時代学堂の対反機を想は各家館学低落名大新京取学的で名家館学の対反機を担ける。 | ★京取二十銭反高▲大新五十銭 | 199年の一般の日の一般の日の一般の一般を表現の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の | 付되める日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日 | 大新足叶 震劇ココ | 恢復のは、一個と初のでは、 | 買出が打力を | 現五十買 八電の 日本 | 臺高 | 京國田場 + 8 | 株 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 九二二日 高低低 以 | 下发上,分时比较一个日子、四十分的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个 | 2000年 1 | 大型型 | 天生 七節 天龙 | 大 (十月) | ス 上例年 叫加 が休舎 | 市場休會 | 情保野番笠が叶ブ分5分割高下3分割高下3分割を | 松上温騰差加む後日の大上、北海観の中にから、北海観の中にから、北海観の中にから、東京の東京の東京の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の | 大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大震・大 | お吹らい大勢可能が、一枚然硬領の大利機関が中一時及復落当能量品の大利機関が中一時及復落当能量品の大利機関が中での大利を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を |
| る表示 | 产級{素型型 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 | 東 500 = | 那〈至二 | 3400 — 260 — 390 — — — — — — — — — — — — — — — — — — — | 野船 中公公 中岛的 中国的 | 大株 4.4.0 4.5.0 4. | 大阪長期株式(十 日) 東計 二十5萬8千百十枚 八百十枚 | 短期質賣高 十 日 ★ 〒 1:00 — | 前場 一样,步利的 一样一样,一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一 | おの逆日歩九錢のみに可取組高京取に関方の受株豆株不足舎生 | 京政道日步 | 京電新株 1100 三、000京電 大〇三、三大〇三、三大〇 | 静 。 銀 、九〇三、二四〇 商銀一新 二三〇五、七五〇 間 四五〇二、二五〇圓 | 十日長期受渡 | | 商級一新二百三十枚乗替かの分日の受渡日のご豆方 | 区 高 | ▲京取二十銭高▲仁新二十次十のダコ場面の五番関別と版では、大のダコ場面の五番関制をある。 | リ▲仁新亦新田媒介十枚三二八駅の南媒介十枚三二一圓九の大駅の南媒介十枚三二一圓九の大駅の南線の十枚三二十十枚買▲原 | ○□▲大新○同價の七三圓の一入電の分中當地上初付全然不成三圓五三圓五三回の一 | 大新不動京取小高 大新不動京取小高 | ひが見る神景学やドスのひせれたのでは、 | 時期には融會配設立の必要対時期には融會配設立の必要対 | ス不同党党表のス件制の末衛会の首次のトリロ会会が時期 | 「「大きなな」と、「おり、これでは、「ない」と、「ない」、「ない」」と、「ない」、「ない」、「ない」」と、「ない」、「ない」、「ない」」と、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」 | いは対し、ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 学の中▲大株の職会に長期負甲のの中国に中語局の対象では一 | ・ 「「「「「「「「「」」」をある。 ・ 「「「」」をある。 | 14 14 三新・11 以三かり以上の公司を前途暗潰せ形便をいるが、 であり歌立を | |
| 変加寒すえ | 展 毛 (皇 二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 | 三二二 560 — 三 470 — 安 三二二十 大 | 取《堂二 信《堂二 取《堂二 新《堂二 | | 原 管二 g (0 雙 女宣 | 金剛山至,00 建 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 軍 | 元 A M M M M M M M M M M M M M M M M M M | 京城棉糸布 | 三二一節節節 | 大邱 愛買高計月末高(名) | 十月未 —— 七月中報良 三、七)神力 質買品三萬二 | | 金 製 | 四月限 | 三三元 | 42 | → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 一大学の大学の大学の大学の大学を表替 『中学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学 | 育線塊 七二仙八分 | 1377 | 空日物 1400 1400 1400 1400 1400 1400 1400 140 | 東京大 | 貸出高 三版、云版 水、三型 | 一般行高(100、交流) で、元 日本銀行券 (九 日) | 東部 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | が (大引来者) (大引来者) | 2 8 | 子 養養 | 大阪短期株式(十日) | 東日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 |
| 心耳中 令人是外外的 山苏田贝 | | 三 | 西事務所 | 外職員一同 | 面長孫東昱 | 同 沙伐西事務助 | | 外職員一同 | 面長南 廷 翼 | 同一科安丽事為所 | ă. | 外職員一品 | | k F | | | 外職員一同 | 面長孫 炳 胄 | · 伯州郡齊川面事務所 | | <i>9</i> | 中華 星 河 | _ | | | 分期員一屆 | 開展・場の | 医支朴 挺 漢 | 传 州道本基宏 | 鐵道開通 |
| か(教質)足な異なの頃にコブロ | 高。 山 旅 館 商州面城下里 | 新 | 第 5 H 5 F 7 F 7 F 7 F 7 F 7 F 7 F 7 F 7 F 7 F | 醫 | 京早報尚金 前龍 前衛門 | 計議 | 交 オン オン外南面新村里 | (電一三九番) | 州面 一 | 理 財 孫 丙 憲 数 命 允 辰 変 | 州昌 | 會社尙州支店 | 大與電氣株式 | 向外郡守 申 鉝 求 | 城下里 | 新疆與洪承 日 一 | 功城雨童新出 | 建設 | 西町洞 | 理事 白幡 準三 | 母事 志茂 半作 | 外職員一同 | • | 阿 中東國本務所 | 外聯員一同 | 祖吴黄 謹 周 | 风 备见强本器所 | 外聯員一屆 | ■ 長郷 東 轍 | 英 内西 國本務所 |
| スム朝田のの日に日でいるに見い | 雅 | 清津府市平河 | 院员 金 亚 · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 唐津府新岩祠七九番也 一 | 神洞鱼 | 1 1 | 7117 | 大 昌 旅 舘 · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 1 _ 1 | 馬 勝 原 清津府府協議會員 | 青丰守东台局 電話 二 三 六 番 | 大 一 | | 五金 | 荷油 | 方 b 產共進會 記北鮮聯絡地 | 會 | 司 部州前令林里 电 一部 | 唐店 | 豐 | 朴東語 | (電 番) | - | 向 州 州 모 음 | 鹿務縣長 丹羽 意 夫爾 州邑 內 | 1-de | 原 | 海 州 青 年 章 (電 <u>4</u>) | 向州私立 普光牌智 | 機術 ② 天一洋服店 税 の 天一洋服店 |
| アンラウム・シードでもって | 舞鶴樓 | 貨座敷 | 清津府北星町 | 歌舞衆全對客親初引目的 | 柳香小香期包 | 、 金 零 邻 | · 宇 | 紅物物類中梅 | 主 電話大 | 質 望 月 | 青単符呈を丘 | 雷門 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 | 岩四事務所 | 南流 | | 金姜李等 | 张玉 牧 | 潘 先 伊 | 店可特色 清津府新岩洞 | 物品坚闭聚價版會迅速研應公本 永 信 洋 靴 店 | 新國 東 法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 新岩洞 | 會員 一同 | 海 津 府 主任 典 思 · 動 | 股 - | 新典青年會 | THE 古界 渐 | 前 | 禁酒會會員一同 | 清津府府 總職會員 |
| | 温 南 | | * | 主洞 | 主 全 三 八 有 | | 朝鮮日報社清津支局 | | 金乗胤 | 成鏡北道許議會員 | 趙東雲 | 海中校許該會員 灣中府新岩洞 | 日新 山 科院 科院 明時間身 | 清津府新岩洞八十四番地 姜 仁 伯 伯 | 學校許議員 張 斗 列海洋海 | 温 | 金 琦 淳 | 金七十 | | ₹ | 母校評議會員 | 清津府朝岩河山一番地 | | 海水市大市 李 四 清 | ***** 草 基 | · 清津府無岩 通 | 宣君 | | 清津 所謂 著 · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 液体的数型三型九十零地 |